

希望が丘南地区

きらっとあさひプラン

第3期 旭区地域福祉保健計画

平成28年度～32年度

希望が丘南地区は、区の最南端に位置し、地区内を数本の二俣川支流が東西に流れています。起伏に富んだ南北斜面を繰り返す丘陵地に住宅地が形成され、戸建て住宅地に集合住宅が点在しています。



■めざす地区の姿

「地域のひとのつながいを強くします」

～みんなで作るまち、みんなが参加するまちを目指します～

■目標A

連動する区計画の柱 2 安心して自分らしい生活ができる地域づくり

防災対策等を通しての日頃から顔の見える関係づくり

■具体的な取組

- 地域の災害時の体制を整えることで、地域づくりを進める。
- 自治会等の防災訓練や各種行事に多くの人に参加してもらい、いざという時の関係づくりを進める。
- 今ある行事や取組（防災訓練等）を見直し、これまで参加しなかった人に関心をもってもらおう。



防災訓練



防災訓練



マイカプセル

■目標B

連動する区計画の柱 2 安心して自分らしい生活ができる地域づくり

安心して自分らしい生活ができる地域

■具体的な取組

- OSOS ネットワークシステムの仕組みの周知や認知症サポーター養成などを行い、地域での見守りづくりを進める。
- 身近な場所（自治会館・公園・ケアプラザなど）で身体を動かすような取組を進める。
- 障がいのある方が地域で安心して暮らせる取組を進める。



認知症理解講座



元気づくりステーション



障がい児余暇支援事業

■目標C

幅広い活動からの担い手づくり

■具体的な取組

- 地域の担い手として、南希望が丘中学校や近隣高校との連携を進める。
- 趣味の活動から地域活動に参加する人を増やしていく。
- お父さんの集まりの場や地域とのつながりを増やし、男性の地域デビューを進める。



クリーン活動



ちょこっと応援団



男性の料理教室

■目標D

地域で子どもを見守り、子育てしやすいまちづくり

■具体的な取組

- すでにある取組（K・K ネット等）のPRを行い、参加につなげる。
- 公園で元気に安全で遊べるように公園での遊びを教えてくれる人（公園で遊ばせ隊（仮称））を増やす。
- 地域に住む子どもたちを対象に、地域で活動した記録（ボランティア手帳（仮称））を作り、子どもたちの活動を進める。



公園遊び（K・K ネット）



3世代ゲートボール大会



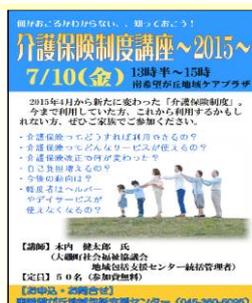
安全ボランティア

■目標E

地域の福祉拠点としての地域ケアプラザとの連携

■具体的な取組

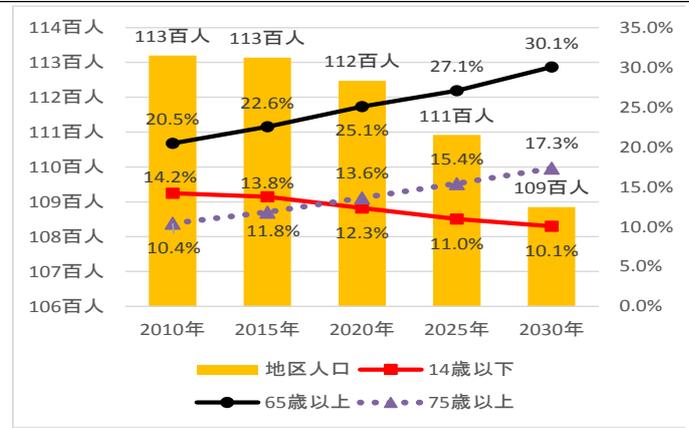
- 地域ケアプラザの活動紹介やリーフレットを配布するなど、地域ケアプラザが福祉に関する相談窓口であることを積極的に周知する。
- 自治会、各種団体等にて、地域包括支援センターの機能や介護保険等の制度や仕組みを周知する講座を開催する。



■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015年3月を見ると、旭区（折れ線）に比べ65歳以上の層の比率が低くなっています。一方、40歳から54歳の層の比率は高くなっています。
- ・人口の推移では、この5年間でほぼ横ばいで、高齢化率は約2%増加しましたが、旭区平均より低くなっています。
- ・世帯数はこの5年間で約100戸増加しています。また、世帯人員は2015年で2.36人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020年で約11200人、2025年で約11100人と見込まれます。また、高齢化率は2020年で約25.1%、2025年で約27.1%になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



■2期計画の振り返り

- ・地区社協の主要行事である「バザー」を「ふくし祭り」に模様替えをして、バザーの他に、模擬店、知得コーナー等を追加し、幅広い世代間の多くの来場者を得て、楽しいふれあいの場となった。
- ・自治会、小中学校、各種団体の連携・協力のもと、「地域の人をつなぐを強くします」という目標を達成できた。
- ・自転車教室は、2回で終了したが、特に新1年生については、学校の教科の一環として歩行訓練の時に、自転車走行時の運転注意事項を併せて行う事になった。

■地区の福祉課題

《地域参加・自治会》

- ・お祭りや運動会などの行事の参加者が同じ方ばかり。誘って参加してもらえるような取組が必要。

《災害・要援護者》

- ・一時避難場所など災害時の対応も知られていない。
- ・災害に備えた取組、特に高齢者や障がい者に対して取組が必要。
- ・自治会役員や老人クラブの友愛活動員などの協力が必要。重要な部分は民生委員が対応。
- ・個人情報保護の問題もあるが、ひとり暮らしなどわかる情報は発信して見守りが進むと良い。

《健康づくり》

- ・元気なうちから、健康づくり、仲間づくり、介護予防を楽しく行う。
- ・健康寿命をのばすため、健康に関することを取り入れ、介護予防を推進する。
- ・自治会加入者が多い地域でも、今は大丈夫だが、早いうちから仲間づくりを行う。

《社会的弱者》

- ・制度の谷間の方や制度を受けられない人へのサポートが必要。

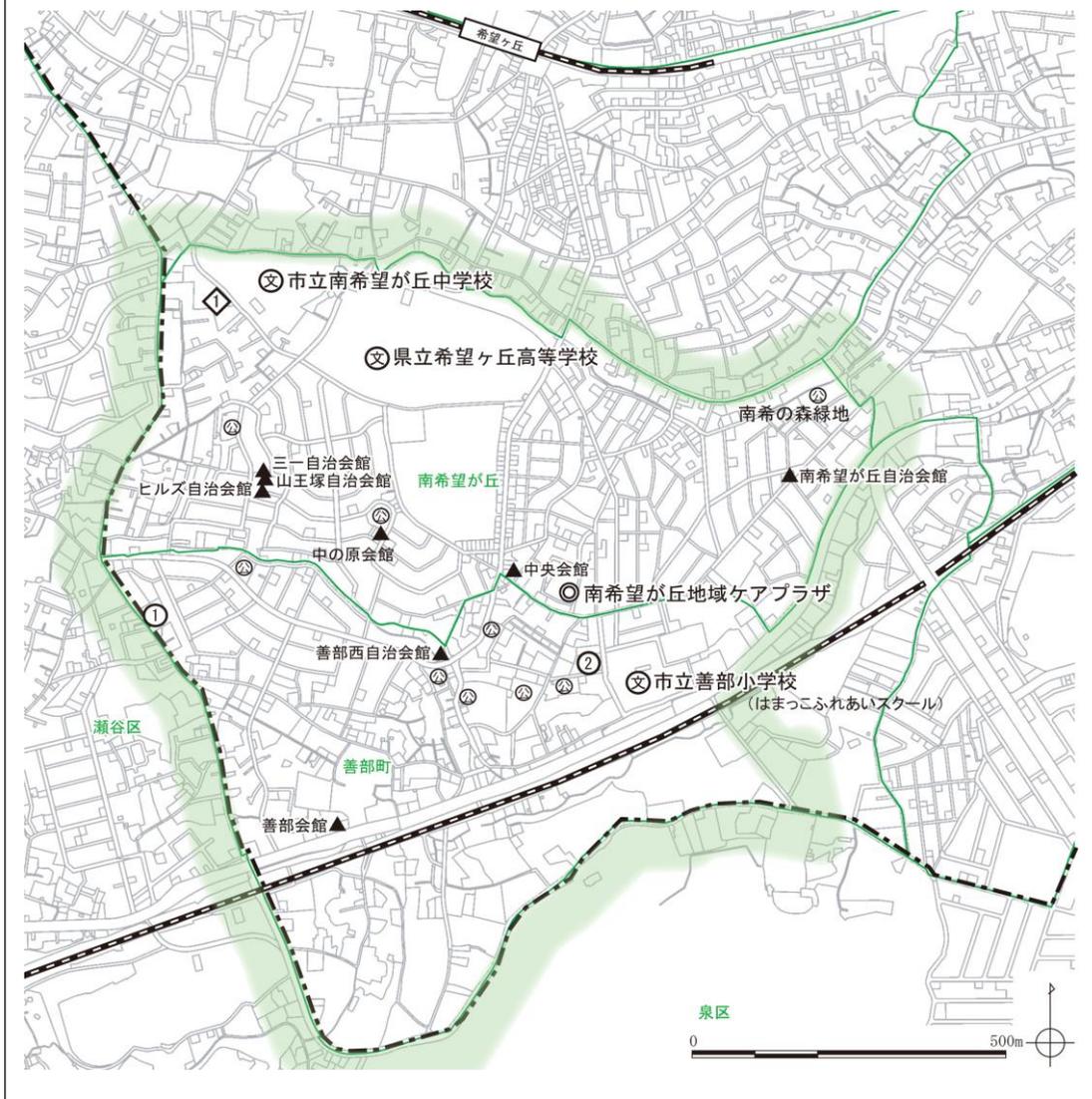
《子育て》

- ・子ども達を地域で育てていかなければ、支える側が不在になる。
- ・K・Kネットなど、すでにある取組が必要とする人に充分知られていない。
- ・公園で遊ぶ子どもが少ない。 ・この地域でいつまでも暮らしてもらえるような取組が必要。

《担い手・サポート体制》

- ・子ども会、PTAの役割が多く手がまわらない。役員活動の見直しも行っている。
- ・登下校での見守りもあり、地域や学校の行事など参加の機会もある。どう参加者を募るかが課題。
- ・退職後の男性が地域とつながっていない。

■福祉保健施設の分布



■施設リスト

- | | | |
|-----|-----------------|-----------------------------|
| 子ども | 認可保育所 | ① 善部保育園 |
| | 放課後児童クラブ | ② レインボークラブ |
| | 高齢者 | 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム) |